



# 七松小学校 学校だより

令和元年度  
5月号  
尼崎市立七松小学校  
学校長 森本秀子

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



## 「教育」は「共育」

令和の時代が始まりました。「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味があるそうです。日々の授業で「ペアで」「グループで」「クラス全体で」話し合い、課題について探求していく場面があります。主体的で深い学びは、対話という作業から大きく育っていきます。人の心がわかり、共に成長できる子を目指して、歴史の節目であるこの一年も、様々な教育活動に取り組んでまいります。

保護者の皆様には、先日の参観、懇談に、多数お越し頂きありがとうございました。新学期がスタートして、はや1ヵ月が過ぎようとしています。在校生は先生や教室が変わり、気分も一新、皆やる気いっぱい学習に励んでいます。1年生も「1年生を迎える会」を終え、少しずつ学校生活に慣れ、毎日元気に登校しており、うれしく思っています。4月25日には1年生の給食が始まりました。小学校での初めての給食のメニューは、ハヤシライスとフレンチサラダ、牛乳でした。担任の指示に従って、給食当番が上手に準備をしていました。初めての給食に、子どもたちは口々に「おいしいね。」「最高!」「野菜もおいしいから食べられたよ。」と、満足そうな様子でした。これからたくさん食べて健康な体づくりをしていきましょう。

ところで、お子さんの勉強のやる気がでない時どうすればよいかとの質問があります。特効薬はありませんが、あえていえば「自己肯定感を高めること」「よい学習習慣を身につけさせること」が大切であるといわれます。まず大人が一緒になって勉強できる雰囲気をつくるのが大切です。家庭で、宿題があればやる、その日の授業のノートを見返す、教科書を読む、漢字の書き取り等、できれば低学年のうちに短時間でよいのでリビングなどの親の目の届くところで、まだ勉強が難しくない時期に毎日学習をする習慣を身につけさせたいものです。家庭学習が継続できれば、本人も手応えがあり、「やればできる」という成功体験につながります。中学年以上になると、漢字や計算といったスキルだけでなく自分の頭で考えることができないと、学力が伸びていきません。そのためにも読書に親しむ環境づくり、新聞やニュースなどから社会の出来事に関心をもたせ、家族で語り合う機会をつくるのが大切です。「大人が1cm変われば、子どもは1m変わる」との言葉があります。意識を少し子どもにむけて行動しましょう。大人が子どもと共に育つ「共育」の中で、子どものやる気は自然と育っていきます。

- ・本校は、毎週月曜日が**定時退勤日**で、午後5時15分までに職員は帰ります。ご理解の程、よろしくお願いします。
- ・学校の教育活動をよりよく知っていただくため、**ホームページの充実**に努めております。児童の様子を写真等で掲載させていただいておりますが、もし不都合のある場合には担任の方までお知らせいただきますよう、よろしくお願いします。